

聖徳太子から武田騎馬隊まで。
山梨の馬が歴史を動かした！



国産



重要文化財



重要文化財



企画展

甲斐の黒駒

THE BLACK STALLION OF KAI

平成26年 10月11日(土) - 12月1日(月)

- 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週火曜日
- 観覧料 一般500(400)円 大学生250(200)円

※山梨県内在住の65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)、小・中・高・特別支援学校等の児童・生徒は無料です。
※()内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。
※無料・割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。
※定期観覧券(年間パスポート)もございます。

主催: 山梨県立博物館
後援: 朝日新聞甲府総局 NHK甲府放送局 エフエム甲府 エフエム富士
産経新聞甲府支局 テレビ朝日甲府支局 テレビ山梨
日本ネットワークサービス 毎日新聞甲府支局 山梨新報社
山梨中央銀行 山梨日日新聞社・山梨放送 読売新聞甲府支局
協力: 山梨交通株式会社



がいじあむ 検索

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
Tel.055-261-2631 Fax.055-261-2632
E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp
URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp

右列より時計回りに:「黒駒太子像」(部分・当館蔵)、「長篠合戦図屏風」(部分・犬山城白帝文庫蔵)・展示は複製)・金銅製心葉形透彫杏葉(高崎市観音塚考古資料館蔵・重要文化財)・旗を立てた馬形埴輪(行田市郷土博物館蔵・重要文化財)・藤ノ木古墳出土金銅製龍文飾金具(文化庁蔵・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館保管・国宝)



甲斐の黒駒

THE BLACK STALLION OF KAI

午年に想う。山梨の人と馬、1500年の物語。



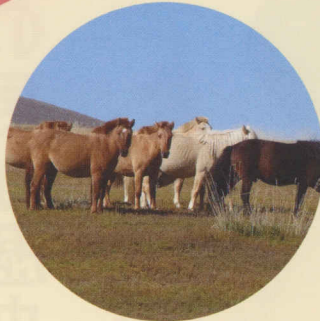
左: 頭巾をかぶった男子埴輪(馬曳き) 右: 男子埴輪(馬曳き) (行田市郷土博物館蔵・重要文化財)



騎馬人物土偶 (三国時代(新羅) 東京国立博物館蔵・重要美術品) Image:TNM Image Archives



唐鞍装着模型(馬の博物館蔵)



日本の馬のルーツとされるモンゴルの馬



鎧・轡 (飯田市教育委員会蔵・山梨県指定文化財)

山梨に馬が来た

約5千年前にユーラシアの草原地帯で家畜化された馬は、約3千年の時を経て、はるか極東の果て、日本列島に到達しました。馬の登場は軍事力や情報伝達に革命を起こし、歴史を動かしていくことになりました。山梨にも早くから根付いた馬がもたらしたインパクトの大きさを探ります。

古墳時代の「高級車」

黄金の馬具で飾りたてた馬は古墳時代の権力者たちの軍事力の源泉、権威の象徴となりました。古墳から出土したさまざまな埴輪や馬具から当時の馬の姿を紹介します。

名馬のブランド 甲斐の黒駒誕生

聖徳太子が甲斐国から献上された黒駒にまたがって奈良の都から富士山まで飛んだ一。その伝説の背景には古代甲斐国の基幹産業であった「牧」の存在がありました。「名馬のブランド」登場の背景をひも解きます。

実はポニーだった?? 武田騎馬隊の実力

戦国最強と謳われた武田騎馬隊の実態は?そして、なぜ長篠合戦で敗れたのか?最新の研究からその実像に迫ります。

名馬の競演 将軍の厩

平和な時代でも馬は地位と富の象徴であり続けました。馬が権力者や神の乗り物として畏敬と信仰の対象であった時代を振り返ります。

復元/武田の馬に乗れます

※中学生以下限定



鉄製馬具のセット(飯田市教育委員会蔵・飯田市指定文化財)



歌川芳虎筆(信州川中島大合戦 朝霧ふかく立ちおほふの図)(部分・当館蔵)



馬面(馬の博物館蔵)



殿図屏風(部分・馬の博物館蔵)

記念講演会「馬の来た道～東アジア世界の馬文化～」

中国、韓国、日本の馬具、馬骨に関する最新の研究成果をもとに、東アジアから日本列島への馬文化導入の過程を明らかにします。

基調講演 「天馬翔けるユーラシア」 末崎真澄氏 (公益財団法人 馬事文化財団 理事・馬の博物館副館長)

報告1 「中国古代を駆け抜けた馬たち」 菊地大樹氏 (京大文学部文化人類学研究所)

報告2 「海を渡った騎馬文化～朝鮮半島から日本列島へ～」 諫早直人氏 (奈良文化財研究所)

報告3 「ヤマト王権と馬～日本における馬の普及と意義～」 丸山真史氏 (京都市埋蔵文化財研究所)

[日時] 11月23日(日) 13:30～17:00 [場所] 生涯学習室 * 申込不要・参加無料

木曾馬に乗ってみよう!

日本在来馬の一種、木曾馬の乗馬体験ができます。 [日時] 10月18日(土)、11月1日(土)、11月24日(月・振休) 10:00～16:00 (12:00～13:00はお馬さんの休憩時間)

[場所] 博物館エントランス付近 * 申込不要。企画展観覧券が必要となります。整理券を配布し、なくなり次第受付終了となります。対象は中学生以下となります。

お一人で乗れない乳幼児はご遠慮ください。

常設展おすすめ展示「山梨の馬」

江戸時代の甲斐における馬と人の関係や馬にまつわる民俗を紹介いたします。 [会期] 10月15日(水)～12月15日(月)

※会期が異なりますので、ご注意ください。

[場所] 常設展示室 * 常設展示観覧券が別途必要となります。



木曾馬(紅葉台木曾馬牧場)

かいじあむ子ども工房「土馬を作ろう」

[日時] 10月11日(土)、11月8日(土) 10:30～15:00 [場所] ロビー * 申込不要・参加無料

かいじあむ古文書講座「馬に関する古文書を読む」

[日時] 10月25日(土)、11月22日(土) 13:30～15:00 [場所] 生涯学習室 * 事前申込が必要(県立博物館TEL055-261-2631)・参加無料

かいじあむ検定

甲斐の黒駒にまつわる地を訪ねます。詳細は1か月前よりお知らせします。 [日時] 10月26日(日)

学芸員によるギャラリー・トーク

[日時] 10月13日(月・祝)、10月25日(土)、11月2日(日)、11月16日(日) 15:00～1時間程度 [場所] 企画展示室

* 申込不要。企画展観覧券をお求めのうえ、企画展示室入口にお集まりください。

「甲斐の黒駒」ミニ展示

展示の見どころをパネルで紹介いたします。 [会期] 10月22日(水)～11月3日(月・祝)

[会場] 甲府市立図書館(甲府市城東1-12-33)

* 申込不要・観覧無料



ボクにも会えるよ!

埴輪馬(前橋市教育委員会蔵)



アクセス

- ◎中央自動車道一宮・御坂ICから車で約8分
- ◎JR石和温泉駅からバスで約10分 山梨交通/「山梨県立博物館」行き
- ◎JR甲府駅からバスで約30分 山梨交通/南口7番のりば「山梨県立博物館」行き 富士急行/南口7番のりば「富士山駅」・「下黒駒」行き
- ◎富士急行・河口湖駅からバスで約40分/5番線「甲府駅」行き
- ◎富士急行・富士山駅からバスで約50分/4番線「甲府駅」行き